

公益社団法人松阪青年会議所

2018年度 基本方針

次代開発室 室長 深田龍

担当委員会 青少年開発委員会

《基本方針》

63年の長きに渡り、松阪市のまちづくり・ひとづくりを支えて来られた諸先輩方の功績や尽力に感謝し、“まちの未来へのおもい”を引き継ぎながら運動を展開して参ります。そして、そのおもいを継承し、これからのまちの未来をつくるのは若者であり、彼ら彼女らに何を残していけるかは、今いる大人が主体性と創造性を持ち、若者と関わらなければいけません。今いる大人が俯瞰的な視野から世の中の流れを把握・推測し、次代に必要な知識や経験と共に、諸先輩方のまちやひとに対するおもいの根幹にある“他者をおもいう心”を若者に学んでいただきたいと考えます。

次代開発室では青少年開発委員会を担当させていただくなかで、他者をおもい、他者のために行動できるひとづくりを行います。他者のために行動できるひとづくりは自己を知ることから始まります。多様な社会のなかにおける自分を客観的に知り、他者のために何ができるか若者には主体性と挑戦心を持って、考え行動できるよう育成していきます。そして、行動を実績と変えることで自分自身に自信を持っていただきます。また一方で、伝える側である大人にも、次代を担う若者を育てる責任を感じてもらいながら事業の展開を行ってまいります。

年々、減少していく会員数に歯止めをかけ、継承してきた諸先輩方のおもいの担い手をつくる活動は、その重要性を増してきています。次代を支える仲間づくりとして会員拡大についても取り組んでまいります。

本年度、青少年開発委員会が担う責務を年間通して果たせるよう室長の責任を全うする所存です。みなさまのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。